

輝き

三木市立三木特別支援学校

学校通信 No. 6

令和2年7月30日

学校教育目標

- ・校訓 自立 元気 ともに伸びる
- ・教育目標 一人一人が「輝き」、「主体的」に活動する児童生徒の育成

8月の学校生活も頑張りましょう 校長 小林 義直

三木市では、今年の夏休みが8月8日(土)～16日(日)の9日間となっています。9日間のうち、土曜日や日曜日、祝日、お盆の学校閉庁日を除けば平日の夏休みは、11日と12日の2日間しかありません。今までに誰も経験したことのない異例の短さです。

新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、今頃は、華やかなオリンピック一色に包まれていたはずですが、現実には、全く違った状況が続いています。まさに、先の見えない予測のつかない困難な状況が続いています。8月も学校生活が続いている現実をしっかりと受け止めて、柔軟に変化に対応していく力が求められます。2回目の個人懇談等で頂いた保護者の皆様からのご意見にもしっかりと耳を傾け、子どもたちが安心して安全な学校生活をおくれますように努めて参ります。よろしくお願いたします。



「朝の運動」の授業から

「朝の運動」は、自立活動部が中心となって授業を進めています。さまざまな工夫をしながら、取り組んでいる屋外グループの「朝の運動」をご紹介します。

熱中症対策の観点から、7月下旬より9月中旬ころまではグラウンドではなく体育館で行います。最初の2週間は、ころがしドッチボールを行っています。小学部と中学部とが日替わりで「朝の運動」を行います。めあてのたしかめをした後、ラピュレッチという準備運動やボールを転がす練習をして、ころがしドッチボールが始まります。

学校生活の最初に行う「朝の運動」をスムーズに行うことが、1日の良いスタートを切る試金石となっています。意識をボールへ誘うさり気ない声掛け、転がすためのコツの伝授等、子どもたちが興味関心ややる気をもって運動できるよう工夫しています。子どもたちが、先生方の声援を受けて、力いっぱい頑張っている姿やボールに集中して動いている姿は、とても素晴らしいです。

